

# かくだ市議会だより



## 第418回定例会

- 概要質疑 ..... 2・3
- 議案審議結果 ..... 4
- 決算審査特別委員会 ..... 5
- 一般質問 ..... 6～12

## 角田市議会から

- 市に要請書を提出 ..... 13
- 議会日誌 ..... 13
- 教育厚生建設常任委員会活動報告 ..... 14

## 【今号の表紙】『紅葉』

秋晴れの一日、台山公園を散策。園内の木々が綺麗に色づいていました。市内では数少ない、紅葉の名所かな。

《撮影》 齋藤 吉信 さん

撮影日：令和3年11月6日 場所：台山公園

## 表紙写真・イラスト等募集しています

2月1日発行予定分の応募は12月21日まで  
詳細は角田ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



### 第418回 9月定例会

第418回定例会は9月2日から9月28日までの27日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定・改正、物価高騰対策などに係る補正予算・令和3年度決算などの議案19件を審議し、原案のとおり可決・認定・承認し、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦について同意・適任としました。一般質問では、12人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

また、議員提出議案が2件提出され、原案のとおり可決されました。

#### ■一般・特別会計補正予算一覧

会計区分		補正額(9月)	補正後の額
一	般 会 計	1,205,070	17,392,427
特	別 会 計		
	国民健康保険事業	3,563	3,475,654
	後期高齢者医療	5,702	395,483
	介護保険	27,145	3,268,413

#### ■一般会計の主な補正予算項目

収入 (収入)		補正額
項	目	
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	74,593
	その他公共施設・公用施設災害復旧事業充当債	131,600

#### ■一般会計の主な補正予算項目

支出 (支出)		補正額
項	目	
	阿武隈急行線災害復旧事業	119,557
	生活応援商品券支給事業	148,593
	施設園芸燃油価格高騰対策支援事業	2,050
	畜産業飼料価格高騰対策支援事業	29,843
	運送事業者等事業継続支援金交付事業	4,224
	新型コロナウイルス感染症対応学校給食費等臨時助成金交付事業	2,734

## 一般会計補正予算(第9号)

### 生活応援商品券支給事業

全市民に商品券を配布し、市民生活の安定を図るとともに、長期化するコロナ禍の影響を受ける市内経済の活性化を図る。

#### 【商品券の概要】

- ・市民一人あたり5千円(共通5千円×5枚、専用5千円×5枚)
- ・世帯主に世帯全員分を郵送

**問** 市民一人あたり5千円とした根拠と、財源について問う。

**答** 類似事業を実施する近隣自治体の状況や昨年度実施した角田市生活困窮世帯等暖房燃料購入助成金支給事業を参考とし、バランスを考慮し設定した。なお、本事業は国の新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用している。

### 畜産業飼料価格高騰対策支援事業

昨今の社会情勢による価格高騰について、飼料の購入に要する経費の一部を助成し、畜産経営の維持を図る。

#### 【補助金額の概要】

種類	補助金額
乳用牛	1万2千円/頭
肉用牛	7千円/頭
豚	千円/頭
家禽	60円/羽

**問** 補助金額の単価設定について説明願う。

**答** 価格高騰により畜産農家に大きな影響を及ぼしている配合飼料について着目し、価格高騰前の飼料費と直近の高騰した飼料費の額を比較し、上昇額のおおむね3分の1を補助金額とした。

## 国の関係機関に「意見書」を提出

昨今の社会情勢による影響で、農業の生産現場では経営状況が深刻化・長期化していることから、地域農業の維持・発展のため、次の意見書を国の関係機関に提出しました。

### 生産資材価格高騰対策等に関する意見書

#### 【要望内容】

- 1 食料安全保障の強化の観点から、生産資材全般の安定供給の確保と価格の安定化に向けて、備蓄も組み合わせた供給体制の確立と万全な予算確保を講じること。特に、創設に向けて現在、検討している肥料高騰対策については、急激な価格高騰に対応しうる十分な予算の確保と多くの生産者が活用しやすい事業にすること。
- 2 国産農・畜産物の再生産が確保できる適切な価格形成の実現に向けた仕組みの構築と国民への理解醸成を図ること。

#### 意見書とは？

地方自治法第99条の規定に基づく制度で、「市の公益に関すること」について、国会や関係行政庁あてに提出するために、議会としての意思を意見としてまとめた文書のことです。意見書の案は、議員が議長に提出し、本会議で可否について採決します。

#### 【意見書の提出状況】

年度	件数
令和元年度	3件
令和2年度	5件
令和3年度	2件

## 条例審査 ～総務産業常任委員会での質疑～

**議案第52号** 角田市債権管理条例の制定について

**問** 現在の債権額は。  
**答** 債権管理の統一的な基準を定め、私債権を放棄できる要件を規定し、行政運営の効率化を図る。

**問** 現在の債権額は。

**答** 令和3年12月末時点で、放棄がでない債権を含め2,300万円ほどある。

**問** 債務者の生活実態を把握しているのか。

**答** 担当課で、債務者の状況に応じた対応に努めており、実情を踏まえ、放棄も見据えた規定がある。

**議案第55号** 手数料条例の一部改正について

コンビニ交付が開始されることに伴い、各種証明書発行手数料の額を設定するもの。

**議案第53号** 職員の定年等に関する条例等の一部改正について

**問** 地方公務員の定年年齢が段階的に引き上げられるため、法に基づき改正するもの。

**問** 地方公務員の定年年齢制度の改正内容について問う。

**答** 令和5年度から段階的に2年に1歳ずつ引き上げられることにより、管理監督職務上限年齢制や定年前再任用短時間勤務制などのほか、再任用制度が廃止されることにより暫定再任用制度が整備される。

**問** コンビニ交付の取扱店舗数は。

**答** 全国のコンビニ、スーパーなど約5万6千店舗。市内は14店舗での取扱いとなる。

**問** マイナンバーカードの発行率は。

**答** 令和4年8月末で37.49% (1万289枚)である。  
※マイナンバーカード普及促進のため、コンビニ交付は令和6年3月末まで1通につき10円

## ？ 議会のギモン

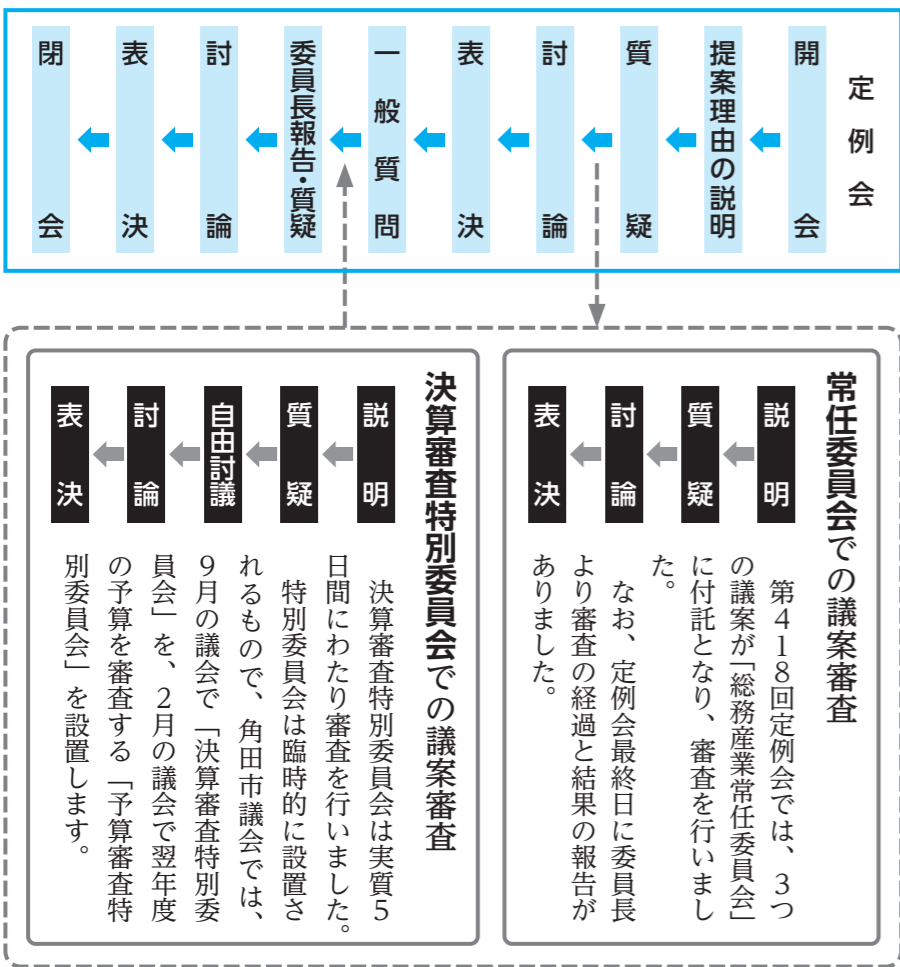
### 委員会ってなに？

▲ 委員会は議会の内部機関で、常設の常任委員会では議会開会中に、市から提案された議案のうち付託(議会の議決に先立って詳しく検討すること)になった議案の審査を行います。

常任委員会は「総務産業常任委員会」と「教育厚生建設常任委員会」があり、議員はいずれかの常任委員会に所属しています。

また、第418回定例会では、前年度の決算を審査するため、「決算審査特別委員会」が設置されました。

※委員会には議事運営などを協議する、常設の議会運営委員会もあります。



令和3年度一般会計・特別会計・事業会計 歳入歳出決算一覧表

(単位：千円・%)

会計区分	決算額				
	歳入(構成比)		歳出(構成比)		
一般会計	19,099,770	(65.8)	18,370,846	(64.6)	
特別会計	国民健康保険事業	3,328,259	(11.5)	3,316,104	(11.7)
	後期高齢者医療介護保険	3,160,461	(10.9)	3,078,836	(10.8)
	東根財産区	254	(0.0)	254	(0.0)
	計	6,844,007	(23.6)	6,744,915	(23.7)
	企業会計	1,144,679	(3.9)	964,661	(3.4)
企業会計	水道業	44,685	(0.2)	312,161	(1.1)
	下水道業	962,071	(3.3)	974,214	(3.4)
	計	3,079,326	(10.6)	3,332,689	(11.7)
	合計	29,023,103	(100.0)	28,448,450	(100.0)

9月12日に議会選出監査委員(1人)を除く議員15人で構成する決算審査特別委員会(馬場道晴委員長、星守夫副委員長)を設置し、細部の審査を行うため質疑が行われたほか、雑魚橋川水管橋長寿命化工事を含む市内5箇所の現地調査(下写真)も行いました。表決の結果、一般会計・特別会計は賛成多数で、事業会計は全会一致でいずれも認定すべきものと決しました。



決算審査

令和3年度一般会計・特別会計・事業会計 決算を認定

**質疑 一般会計(歳入)**  
**問** 市税の還付未済額が増加傾向にある理由を問う。  
**答** 年度内の減額更正(例：退職や死亡等)により、当該年度の出納整理期間(5月末)までに還付手続きが終了しなかった等の理由がある。事業所等の関係機関からの時間差による連絡等の理由により、還付が難しい状況があった。なお、令和3年度中の還付手続きはほぼ終了しており、今後も還付未済額を減らすよう事務を進めていく。

**質疑 一般会計(歳出)**  
**問** 企業誘致促進事業で行った企業立地動向調査の結果と企業の反応は。  
**答** 県内外で操業する事業所37社を選定し、①今後の事業展開(現状維持、規模拡大の有無など)、②新設を検討する施設の種類の種類(生産、物流、事務所など)、③敷地面積規模、④新設等の時期、⑤立地候補地(市内、県内、東北)の項目について、アンケートとヒアリングを実施した。そのうち3社より市内を立地候補とする回答をいただき、現在も、情報収集に取り組んでいる。

**反対討論……日下 七郎**  
 第一に、市長就任後初の当初予算編成において、「角田市第6次長期総合計画」の策定作業を始めた。しかし、角田市長期総合計画案に規定する基本構想、基本計画、実施計画のうち、年度内の実施計画の策定を怠っている。これらの計画は、令和4年度当初予算編成・執行に必要であり、地方自治法第138条の2(執行機関の義務)の規定に違反している。第二に、行政手続法のデジタル化を否定はしないが、行政サービスに格差が生じてはならない。デジタルを活用した手続きとともに、対面・窓口での相談業務を拡充し、市民の選択肢を増やすことが必要である。第三に、監査基準に基づく弁明、見解等の聴取に対し、誠実に応ずべきところ、無視している。また、後期高齢者医療特別会計の決算処理、短期証を取りやめるべきであり、反対する。

**賛成討論……小島 正**  
 一般会計は、新型コロナウイルス感染症対策、3月に発生した福島県沖地震の対策のほか、今後の大雨災害に備えるべく防災・減災事業の進捗が図られており、新設した角田市子ども子育て未来基金などへの積み立ても行い、将来を見据えた健全な財政計画にも取り組んでいる。経常収支比率は90・7%と数値的には財政構造の硬直化が緩和されたものの、大型借入れ償還が必要なことについては、歳入確保対策と歳出抑制を講じる必要があると説明があった。また、後期高齢者医療特別会計の歳入歳出差引額は翌年度繰越金で出納整理期間中に納入のあった現年度分の保険料であり、当局の説明に理解を示すものである。コロナ禍に加え、物価高騰対策に取り組む中、最少の費用で最大の効果に尽力したものであり、賛成する。

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	会派一心		市民クラブ		日本共産党角田市議員		志政クラブ		無会派		
				菊地利衛	小湊利毅	星隆悦	戸村眞喜夫	星守夫	小島正	湯村勇	日下七郎	八島定雄	堀田孝一	武藤広一
市長	議案第52号	角田市債権管理条例の制定について	可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第55号	手数料条例の一部改正について	可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第56号	令和4年度角田市一般会計補正予算(第9号)	可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第58号	令和4年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第62号	令和3年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名	提出者	議案番号	件名
市長	議案第48号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和4年度角田市一般会計補正予算(第6号))	市議員	議案第61号	令和4年度角田市下水道事業会計補正予算(第2号)
	議案第49号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和4年度角田市一般会計補正予算(第7号))		議案第63号	令和3年度角田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
	議案第50号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和4年度角田市一般会計補正予算(第8号))		議案第64号	令和3年度角田市下水道事業会計決算の認定について
	議案第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		議案第65号	角田市総合保健福祉センターZEB化改修事業委託契約の締結について
	議案第53号	職員の定年等に関する条例等の一部改正等について		議案第66号	債権の放棄について
	議案第54号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		議案第67号	債権の放棄について
	議案第57号	令和4年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について
	議案第59号	令和4年度角田市介護保険特別会計補正予算(第2号)		議会案第4号	生産資材価格高騰対策等に関する意見書の提出について
	議案第60号	令和4年度角田市水道事業会計補正予算(第3号)		議会案第5号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について

**陳情・請願の提出期限は11月28日(月)まで**  
**陳情・請願とは?**  
 市民の皆さんのご意見やご要望を市政に反映させるための制度です。議会招集日の7日前までに提出された陳情・請願は、その定例会の会期中に審議されます。  
 ○角田市に直接関係のない場合は、不採択になる場合があります。  
 ○請願には1人以上の紹介議員の署名又は記名押印が必要です。

**皆さんからの陳情**  
 ▼消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出を求める陳情  
 仙南民主商工会  
 会長 日下 秀雄

**人権擁護委員の候補者の推薦**  
 《再任》 齋藤 みつ  
 任期 令和5年1月1日(3年間)

**固定資産評価審査委員会委員の選任**  
 《再任》 太田 京子  
 任期 令和4年10月1日(3年間)

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質すことです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
星 隆悦	靈感商法トラブル等対応について 人財投資について 事務処理における再発防止について	7
馬場 道晴	带状疱疹ワクチン接種助成について	7
相澤 邦戸	審議会などへの女性委員の登用率向上について 「角田市ゼロカーボンシティ宣言」について	8
柄目 孝治	郷土の未来を担う、若者の地元定着推進に関して 新型コロナウイルス感染者数の安全・安心メールに関して	8
戸村眞喜夫	第6次長期総合計画と食料安全保障について さらなる園芸振興について	9
日下 七郎	予算案の編成のあり方について その他の質問 ・角田市防災・減災対策事業の促進に関する事 について	9
菊地 利衛	未来を担う若い世代の定住促進について	10
武藤 広一	角田市ゼロカーボンシティ宣言に伴う具体的な取組について	10

ライブ・録画配信を行っています



<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>  
インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継をご覧になれます。  
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第418回 (令和4年9月) 定例会  
傍聴者数 9人  
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 457人

インターネット録画中継視聴者数  
7月～9月 延べ 615人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
小島 正	太陽光発電等に関する事について	11
菅野 マホ	(自然を守る) 地産地消の再生可能エネルギー 発と条例の制定について (街を守る) 50年後も安心して住み続けられる治 水・排水計画について (食を守る) 今こそ、地産地消の耕畜連携堆肥を 利用しよう	11
堀田 孝一	ため池の防災及び水難事故対策について	12
小湊 毅	角田市の各種団体への補助金について	12



### 靈感商法トラブル等対応 について

星 隆悦

議員▼安倍晋三元首相襲撃事件の背景で、「靈感商法」「宗教団体多額献金」がクローズアップされたが、消費生活相談の現状を問う。  
市長▼消費生活相談員1名が週3日対応し、県の県民サービスセンターや消費生活センターの窓口相談の紹介も行っている。角田市では個人間や通信販売などのトラブル相談が併せて十数件あるが、「靈感商法」の相談はなかった。  
議員▼「靈感商法」被害者を救済するため消費者契約法が2018年に改正されたが、概要を問う。  
市長▼不安をお知らせする告知や加齢による判断が低下した方を不当に利用し、靈感などによる知見を用いた告知を行った場合、契約の取り消しが可能となる規定が追加された。

人財投資について  
議員▼7月26日付け日本経済新聞で「日本はゆでガエル(ゆっくり進む環境変化や危機に対応する難しさや大切さを説く言葉)国家」と揶揄され、人口減少は想定より進み、国家縮小、存続の危機さえある。反面、北欧各国、仏国、英国、米国は合計特殊出生率が上昇に転じ、所得補償、ジェンダー平等、収入増が上昇理由と考えられているが、角田市の子育て支援策の現状を問う。  
市長▼出生率は、平成21年1.79、平成22年1.50、平成23年1.33、平成24年1.25と低下傾向にあり、危機感を持って独自の子育て支援策を庁内プロジェクトチームで検討中である。今後、子ども・子育て会議にお諮りし、来年度の予算に反映させる。



▲中島保育所

事務処理における再発防止について  
議員▼令和2年度決算の下水道事業会計では、監査委員から数字の誤りを指摘され、議会でも不認定となることになった。令和2年度下水道会計決算事務処理における不手際の防止策について、実施状況を問う。  
市長▼係・担当者間であっても連絡は文書で行う、毎月、総勘定元帳と補助簿の突合を行うほか、管理監督者が業務の進捗状況・会計処理状況を確認し、職員には研修を受講させ、スキルアップに努めている。



### 带状疱疹ワクチン接種助成について

馬場 道晴

議員▼新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、带状疱疹を発症する高齢者が増加している。带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる病気、強い痛みと赤い発疹、水膨れが帯状に生じる。日本人の90%以上は発症する可能性があり、50歳代から発症率が高くなり80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。痛みは3週間から4週間続き、約2割の人に3カ月以上の痛みが続き後遺症が残る。現在、带状疱疹ワクチンには、新開発されたシングリックスがあり、その予防効果は50歳以上の方で約97%、70歳以上の方で約91%から97%と報告されている。水痘ワクチンよりも有効性が高いと言われ、発症を減らす効果も大いに期待できる。しかし任意接種

のため4万円前後の高額費用がワクチン接種を躊躇する要因とも言われている。  
そこで少子高齢化社会の中で地域を支える重要な役割を担う方々への負担軽減と健康長寿のため、予防接種の費用助成をすべきと考える。  
はじめに、本市でも、带状疱疹の治療者は増えているのか問う。  
市長▼带状疱疹は感染症法上の届出疾患になっていないことから、本市では特段、このデータを持っていない。そのため、治療者数の増減は、不明である。

議員▼予防接種の費用助成を実施している市町村を把握しているのか。  
市長▼県内では川崎町のみの実施と確認している。  
議員▼予防接種の費用助成をすべきである。市長の考えを問う。  
市長▼現在、厚生労働省の審議会で、带状疱疹ワクチンの予防接種法に基づく定期接種化について有効性や安全性が議論され、検討されている状況である。本市としては、こうした専門家による議論を注視しながら、必要な対応について検討していきたい。  
議員▼川崎町では費用の6割を助成しているようだが。  
市長▼国の検討結果を踏まえ、本市としても検討していきたい。



### 審議会などへの女性委員の登用率向上について

相澤 邦戸

「角田市ゼロカーボン宣言」について

議員▼第6次長期総合計画の中に「男女共同参画に関し普及啓発活動の充実を図る、また、旧態依然とした男女の固定的な役割分担意識にとらわれず個性や能力を活かして市民力を発揮できるまちづくりを推進する」とある。「角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では登用率40%の目標に対し、22.4%であった。新たに令和8年度までに33%、令和13年度までに45%の目標値を上げていくが、その具体的計画を問う。

市長▼委員改選時に女性登用について繰り返し周知啓発する。令和5年度からの実施計画は現在策定中である。

議員▼角田市行政区運営協議会が新たに加わり、登用率が下がったとの説明であったが、今後、この協議会にどう対応するのか。

市長▼女性が委員になれる環境整備をしていく。

ただくともにも、産業に寄り添って進めていく。排出量に対する吸収量は、委託業者の調査によると約6%と報告を受けている。

議員▼緑地による吸収が約6%は少なすぎると思うが、今後高めていくことは考えているのか。

市長▼今後調査をし、対策を取っていく。

議員▼策定中である「角田市第3次環境基本計画」の中にどのように取り入れていくのか問う。

市長▼積極的に取り組む重点施策として取り入れ、令和5年2月末の完了を目指す。その後「角田市地球温暖化実行計画」に基づき実現するよう努力していく。

議員▼国における人材派遣、デジタル技術ノウハウ、資金等支援があり活用すべきと思うが考えを問う。

市長▼活用できるものは積極的に活用していく。



### 郷土の未来を担う、若者の地元定着推進に関して

柄目 孝治

議員▼これまでの定着意欲を掻き立てる事業が、どのように進展し、具体的な成果に至っているのか。

市長▼「企業情報ガイド」では、角田・丸森地区の企業と角田高校生を中心とした周辺高校生とのマッチング事業を展開し、就業について成果を得ており、他の事業でも一定の成果があると認識している。

議員▼地元を知ること、将来、自分の力を角田で役立てたいと、ふるさと回帰を志す若者が増えることにもつながっている。

議員▼専門の大学が近隣に無いことや、自然増減、社会増減などを解析すると、地元根差さない。根差せないことが悪循環となり、様々な事業は、結果や成果に結びつかず、展開できていないと考える。今、さらに一歩踏み込んだ新たな「仕掛け」を試みる時期だと思料するが。

市長▼社会増減の中で、若者の減少には非常に危機感を持っている。現在策定中の第6次長期総合計画の実施計画に具体的な施策を盛り込んでいく予定である。また、「仕掛け」に関するご指摘はその通りで、試みる時期はまさに今だと感じている。

議員▼若者や家族の持つ希望、夢、目標、地元への想いを軸として、行政はじめ各種機関団体、学校などとの強力な組織化各種奨励金支援制度化を検討すべきだと思料がどうか。

市長▼本人家族の思いや気持ちが大変で基本だ。奨励制度については、現在も制度は有るが商工業各分野に向け見直しが必要だと思料。有効性のある制度であり、施策の展開に向け加えるべきか加えて良いか検証検討する。

議員▼適時適切な工夫と導きが大事だし、今一つは、医療対応だ。必要とする人に必要な医療がすぐに受けられる角田の特性を活かすべきだ。



### 第6次長期総合計画と食料安全保障について

戸村 眞喜夫

議員▼コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻を契機に物価が急騰し、食糧輸出国の輸出制限の動きとともに、記録的な為替の円安が加わり、安定的な輸入が危ぶまれる現在、今年度からの第6次長期総合計画の産業政策に、食料安全保障や食料自給率の向上を取り入れた内容を追加する必要があるのではないか。

市長▼長期総合計画の基本計画を動かすため、令和5・6年に向けての実施計画を立案中なので、その中で状況を見ながら判断したい。

議員▼食料の自給率を向上させるためには、エネルギーの安定的な確保や農業生産資材等の自給の向上が欠かせない。特に角田市は耕畜連携した資源循環型農業を推進しているが、肥料や飼料の自給向上を目指した具体

的な施策を打ち出すことができないのか。

市長▼国の動向を注視しながら、情報の周知に努めて具体的な事業化に向けて検討したい。また、農業の館の堆肥を利用しやすいように、ペレット化する方法等も考えられるが、コストがかかる話なので国の制度を調査し慎重に検討したい。

議員▼現在、園芸農家は、コロナ禍での需要の減退・燃油や農業生産資材価格の高騰等が同時発生し、所得が著しく減少し、経営が厳しくなっている。従来、角田市では露地栽培から、パイプハウス等を利用した施設栽培を推進してきたが、新規就農者や規模拡大の意欲のある担い手が、自己資金不足のために必要面積を確保できない状況に

なっている。そこで、さらなる施設園芸振興のため「園芸特産重点強化整備事業（単独事業）」と「園芸農業促進事業（単独事業）」について市の補助率等を上げる必要があるのではないか。

市長▼過去の実績や資材価格高騰等の状況、ご指摘いただいた点を考慮して検討したい。

議員▼施設園芸農家のコストを低減するために、使われなくなったパイプハウス資材の流動化を図ることが、環境に優しく費用対効果が大いと思われるので、パイプハウス等の中古物件の移設に係る費用（材料代、輸送代、移設費等）に助成制度を設けてはどうか。

市長▼大きなメリットがあると考えるが、補助金の対象として妥当なものか調査していきたい。



### 予算編成のあり方について

日下 七郎

議員▼第417回定例会一般会計補正予算（第4号）の歳出8款6項1目、住宅管理費の補正額1,013万1千円の財源を歳出12節公債費から552万7千円を充当し、当初予算編成時に特定財源である住宅使用料456万4千円を一般財源充当したものに4万円を加算して、460万4千円を住宅管理費の補正予算の財源としている。

この予算編成は、市長の予算調製権を行使するに当たって、市長だけが持つ特権を何をやってもよいといっても制約がある。住宅管理費は住宅使用料で充当するものであり、住宅管理費に一般財源（市税）を充当することや、住宅使用料（特定財源）を一般財源に充当することは制約されている。

また、今期定例会一般会計補正予算（第9号）の普通交付税本算定において、当初予算編成と比較すると、歳入の減額補正額（歳入欠陥・赤字）が1億3,628万8千円となっているが、予算編成する上で、必要となる収入を見積もるための資料・情報の収集に不足があるのではないかと思っている。

以上を踏まえ、第417回及び第418回の指摘をどう受け止め、また、予算編成に当たり市長の権限を行使し、予算編成のあり方について、市長の考えを問う。

市長▼予算編成にあたり、必要となる各種資料・情報の収集を実施し、その内容を正確に把握、また、時勢に応じた動向などを予測し、さらには、角田市第6次長期総合計画に

掲げる基本理念と整合性が図られた政策・施策であるかなどを総合的に判断・決定し、歳入・歳出予算案の編成をすべきと考えている。

なお、歳入を見積るための資料・情報の収集に不足があったのではないかと指摘については、真摯に受け止め、今後の予算の調整及び執行について適正に行っていく。

議員▼市長が就任して2年経過するが、選挙公約の予算措置が未だされずにいるが。

市長▼市民力の醸成・育成や子育て環境の整備に注力するとともに、保育料・給食費の無償化などについては、現在、プロジェクトチームでまとめられており、来年度の予算等に反映をさせていきたい。



### 未来を担う若い世代の定住促進について

菊地利衛

〔若い世代がまちづくりに参加を促進する制度の創設を〕

議員▼若い世代が住みたくなるような「楽しい角田」に向けた提言をもらい、一定の予算の範囲内で事業実施できる継続的な制度を創設すべきだ。市長▼若者会議（高校生との意見交換会）などで意見を聞くことから始めたい。

議員▼単発的でなく、継続的に取り組むべき。高校生にSNSを駆使したPR大使を委嘱してほしいか。市長▼高校生にとっては負担が大きいと考える。議員▼高校生に「肌脱いでもらうことは重要だ。制度を恒久化してほしい。市長▼制度の枠組みは重要である。高校はじめ関係者とタッグを組みながら進めていきたい。

〔新卒者の地元での就職促進について〕

議員▼一旦角田を離れる

と、戻る確率は非常に小さい。そこで、中・高校生に対し、地元での就職を促すための施策とその効果について問う。市長▼就業機会の確保として、丸森町と共催で企業情報ガイダンスを実施し、成果は得ている。議員▼角田市出身の大学生に対してはどうか。市長▼行っていない。議員▼自分の力を角田でも発揮できると思えるような情報発信が、今求められている。企業にとっても人材確保は死活問題だ。

〔子育て世代が安心して暮らせる環境づくりについて〕

議員▼近隣の市町に就職した場合でも、角田市に住んでもらわなければ意味をなさない。子育て環境、教育の充実を急がなければならない。

市長▼市内プロジェクトチームで、現状ニーズ・優良事例等を基に現在検討中であり、子ども・子育て会議に諮問し、今後各事業に反映していく。教育長▼充実した教育の中で楽しく、主体的に学ぶことができれば、保護者の定住のモチベーションも上がる。〔雇用創出のための物流ネットワークの早期確立について〕

議員▼先日の新聞に枝野のM社が隣町に工場増設するとう記事が載っていた。角田市として、事前に把握していたのか。市長▼提案はしてきたがご希望に沿えなかった。企業と意思疎通を図り、情報収集に努めたい。議員▼国道349号の高上げ・拡幅と、常盤道と東北道を結ぶ高規格道路の進捗状況について問う。市長▼現在、国・県で調整中であり、今後も要望を継続していく。



### 太陽光発電等に関することについて

小島正

議員▼角田市に設置されている大規模な太陽光発電設備（メガソーラー）の固定資産税額は。市長▼正確な把握は困難だが、令和4年度で約1億1千700万円である。議員▼太陽光発電設備の設置により、固定資産税の増額はどの程度か。市長▼太陽光発電設備を山林や農地に設置した場合、固定資産税の現況地目は介在雑種地となる。設置前の地目の敷地割合や設置場所の地域性により、一律でないが、倍率で比較した場合、20倍から30倍の増額となる。議員▼町尻土地区画整理地内にある遊水池に、太陽光発電設備を設置し、脱炭素社会の実現に向け、市の取組みを発信すべきと考えるか。市長▼施設の有効活用については必要と考えるが、中央排水区雨水調整池へ

の設置は、施設の維持管理面や採算性からも困難と考えている。議員▼介護施設に入所している人を養うため、一人で働き、1人、2人と養っている方に、太陽光発電設備の増額となった固定資産税を分配しては。市長▼固定資産税は普通税であり、特定の目的に充てる税とはならない。一般財源に繰り入れ、十分に考慮した上で、福祉や市民生活の向上のために使用していきたい。議員▼昨今の社会情勢により物価が上昇している。太陽光発電設備の設置により増額となった固定資産税の、生活が苦しい方に対する支援策を問う。市長▼一般財源に繰り入れ、限定的に用いる訳ではないが、固定資産税の増額により、例えば商品の券の配布、困窮世帯への助成事業等を実施してお

り、有効に活用していると考え。議員▼今後の太陽光発電事業の考えを問う。市長▼太陽光発電事業に限らず、発電に再生可能エネルギーを活用することは、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しないことから、地球温暖化対策には必要不可欠である。太陽光発電は、今後、間違いなく普及していくと考えているが、一方で、メガソーラーは、台風・地震・洪水などの突発的な自然災害には脆弱であり、近年の異常気象により、リスフは非常に高く、設置する場所によっては、住民トラブルが発生する可能性もある。脱炭素社会実現のために促進していくものの、地域の理解を求めることが非常に大切だと考えている。



### 角田市ゼロカーボンシティ宣言に伴う具体的な取組について

武藤広一

議員▼脱炭素実現には、市内の住宅等に太陽光発電システムを導入することが有効である。隣の丸森町では、太陽光電池出力1キロワット当たり2万円、限度額10万円、蓄電池容量1キロワット当たり1万円、上限10万円の補助金を交付している。市でも補助事業を導入の考えはないか。市長▼カーボンニュートラル実現には、再生エネルギーの導入が必要不可欠で、各家庭に太陽光発電設備を設置することは、有事の際のバックアップ電源にもなり、大変有効な手段と考える。補助事業導入を検討したい。議員▼市内の遊休農地を活用し、太陽光発電システムを導入すれば、特に山間部でイノシシ被害対策にもなり、温暖化対策と有害鳥獣対策のダブル効果が得られる。環境省など各官庁の補助事業

を上手に利用し、ゼロカーボンシティを目指してはどうか。市長▼山間部の使われていない農地、棚田等の有効活用としては大変有効だと考える。議員▼是非とも研究、検討して実現に向けて進めて欲しい。市長▼国、県の補助事業等の情報収集を行い、早急に進める努力をしたい。議員▼市内の特に山間部では、放置竹林が多くイノシシのすみかになり、農業被害や土地の水源涵養機能が低下し、土砂災害等の原因となっている。そこで竹チップポイラーを導入し、竹の資源化を図ってはどうか。市長▼林道の維持管理等に使用するため、ウッドチップを購入予定で、その際に出るチップ材は、市内施設などで活用できるか検討したい。また、竹チップポイラーの活用

についても検討したい。議員▼二酸化炭素をあまり出さないペレットストーブを普及啓発してはどうか。山形県などでは購入補助もある。市長▼ペレットストーブはヨーロッパでは常識になっている。今後検討してみたい。議員▼人間が、社会活動や経済活動を行う上で、二酸化炭素排出量ゼロにはできない。二酸化炭素排出量と吸収量を相殺することで「実質ゼロ」となる。市長として、2050年までの実行計画をどう描いているのか。市長▼脱炭素への具体化加速を進めるためには財源の確保も必要。それらを考慮しながら、国・県からの指導、民間企業からの支援を受け実現に向けて取り組みたい。



### (自然を守る) 地産地消の再生可能エネルギー開発と条例の制定について

菅野マホ

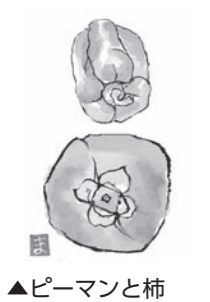
議員▼開発事業者と地元住民とのトラブルが多発している。本市も「自然を守るための開発規制に関する条例」(仮)を早急に制定すべきと考える。市長▼事前の住民説明会の実施や、事業終了後の原状回復等を網羅する条例の制定は必要だ。また、国土安全保障という観点でも「地上権(設定契約締結を防ぐ規定)」を含めることは大事だと思う。議員▼「本当に住民に喜ばれる再生可能エネルギー」とは、を仙南2市7町で話し合い、ダム水力発電、温泉熱を利用した地熱発電等を含め、連携した地産地消のエネルギーを開発すべき。市長▼現在、角田市に導入可能な再生可能エネルギーの分析を行っており「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に示す予定だ。エネルギーの広域連携は、最終的に必要だと思っている。

(街を守る) 50年後も安心して住み続けられる治水・排水計画について

議員▼市民より「現状復帰の工事では、角田市は水没してしまうのではないかと不安の声があがっているが、「内水ハザードマップ」の作成を含め今後の取組みを問う。市長▼令和6年度に「浸水想定区域図」作成、避難に関する情報等を加えた「内水のハザードマップ」作成を検討したい。議員▼近年の流域治水の取組みを問う。市長▼今、阿武隈川の流域治水プロジェクトに、日本で一番の予算(1千840億円)が注がれている。調査でこれまでの10年に一度、から、30年に一度、の水害規模になり、農林水産省に、国土交通省、財務省も後押しする動きがあると聞いている。国営による排水機場の設置と整備に期待している。

(食を守る) 今こそ、地産地消の耕畜連携堆肥を利用しよう

議員▼肥料代高騰の今、「農業の館」の堆肥を積極的に農家に還元すべきと考えるが、今後の方向性を問う。市長▼「農業の館」は重要な施設として位置づけして、持続可能な、また拡大できるならばそれに向けた事業展開をするべきだと考えている。議員▼家畜のふん尿等でメタンガスを発生させるバイオマス発電、施設を造り、施設での利用や売電を提案する。市長▼持続可能なエネルギーの一つにバイオマス発電があり、その材料もある。「農業の館」の利活用も含め検討したい。



▲ピーマンと柿



ため池の防災及び水難事故対策について

堀田 孝一

議員▼本市に存在するため池は、81カ所あるが、早急に対応を講じなければならぬため池はあるのか問う。

市長▼内町上ため池・内町下ため池、鍛冶屋沢ため池、小針ため池、是入ため池の5カ所が防災重点農業用ため池に選定され調査を行っている。内町上ため池・内町下ため池は、防災対策が必要となり、令和4年度から県営事業にて測量設計を行い、対策工事を実施していく。

農林振興課長▼鍛冶屋沢ため池は、令和4年度に測量設計、令和5年度に浚渫を予定している。小針ため池及び是入ため池はこれから調査を行う。

議員▼内町下ため池の安全柵は、子どもでも容易に乗り越えられる柵高である。今回の堤体工事に合わせ、県へ強く要望すべきである。

市長▼現時点では正確に把握していない。廃止要望があれば地元行政区と相談し、検討していく。

議員▼今年4月、県内で発生した水難事故を受け、本市のため池81カ所のうち、集落周り、通学路の近接する場所等、38カ所を緊急点検し、19カ所について対策を進めているが、対策内容及び進捗状況について問う。

農林振興課長▼安全面を考慮し、県と確認しながら進めていく。

議員▼内町下ため池は監視カメラにより随時、水位を確認しているが、他の防災重点農業用ため池についても、監視カメラが必要ではないか。

市長▼今後検討していく。議員▼記録的な大雨が頻発する中、使わなくなった農業用ため池を「廃止する動きが広がっているが、本市においては、未使用のため池はあるのか問う。

市長▼現時点では正確に把握していない。廃止要望があれば地元行政区と相談し、検討していく。

議員▼今年4月、県内で発生した水難事故を受け、本市のため池81カ所のうち、集落周り、通学路の近接する場所等、38カ所を緊急点検し、19カ所について対策を進めているが、対策内容及び進捗状況について問う。

議員▼今回の対応は、応急対応と捉えるが、今後の対応（ハード・ソフト）について、どのように考えているのか問う。



角田市の各種団体への補助金について

小湊 毅

議員▼角田市の財政状況は厳しいと言われてから久しく経過する。財政的なやりくりが非常に重要である。角田市創業支援協議会に依頼している「かくだ創業スプラウト事業」は開始から数年経過している。角田市商工会に直接運営頂くようお願いできないのか。

市長▼平成28年8月に角田市創業支援協議会を設立し、創業希望者の掘起し、創業支援を行ってきた。令和3年度まで、創業支援者7人の創出が実現できた事業である。商店街の活性化や後継者育成問題、空き家の増加問題等もあり、令和元年度からは角田市商工会長が協議会の会長に就任して頂いている。創業支援事業の進捗には望ましい形だと考えている。今後の創業支援事業の在り方について、角田市商工会と相談をしながら進めていく。

議員▼実現が可能であれば、かくだ創業スプラウトの事業費が増額になる。ある程度、商工会への補助金を減額する検討が可能になるのではないかと問う。

市長▼角田市商工会が創業支援事業を実施し、その経費の一部を現行の負担金を活用して予算化してはどうかということであるが、可能であれば、検討していくべきである。角田市商工会と相談を進めてまいりたい。

議員▼シルバー人材センターの作業単価が安過ぎるのではないかと考えている。角田市は大口のお客であり、角田市から発注するシルバーへの仕事について、何割が増額した単価で発注すべきではないかと問う。

市長▼年を重ねた方々が活躍頂き、健康を維持し、社会貢献をして頂くということがこの事業の一番大切な部分だろうと認識をしている。賃金等について、いろんな形で検討させて頂く。

議員▼単価を上げて仕事を願えば、事業費全体は増加するが、継続的に仕事が依頼可能な環境ができることの方が望ましい。そしてシルバー人材センターの手数料の増加にもつながれば、その分、シルバー人材センターへの補助金の減額の検討が可能になるのではないかと問う。

議会日誌

- 8月
  - 1日 かくだ市議会だより第218号発行
  - 8日 会派代表者会議
  - 16日 会派代表者会議
  - 23日 全員協議会
  - 26日 第418回定例会招集告示・会派代表者会議
  - 30日 議員協議会・議会運営委員会
- 9月
  - 2日 本会議（第1日）・会派代表者会議・正副委員長会議
  - 6日 議会運営委員会
  - 12日 本会議（第2日）・決算審査特別委員会（第1日）
  - 13日 決算審査特別委員会（第2日）
  - 16日 決算審査特別委員会（第3日）
  - 20日 決算審査特別委員会（第4日）・会派代表者会議
  - 21日 決算審査特別委員会（第5日）・議会運営委員会
  - 22日 総務産業常任委員会
  - 26日 会派代表者会議・本会議（第3日）・議員協議会
  - 27日 本会議（第4日）・議会運営委員会
  - 28日 会派代表者会議・本会議（第5日）・議会運営委員会・議会だより編集会議
- 10月
  - 6日 教育厚生建設常任委員会
  - 19日 議会だより編集会議

市に要請書を提出

農業の生産現場では肥料・飼料・燃油等の価格高騰により、多くの生産者が厳しい経営状況となっており、今後長期化することが懸念されています。総務産業常任委員会（委員8名）では、この状況について検討を行い、その結果について議長へ報告しました。

市議会では、総務産業常任委員会の報告を受け、市に対し「農業生産資材価格高騰対策等に係る要請について」支援策を提出しました。

【支援策の内容】

農林業・畜産業の経営者に対し、肥料・飼料・燃油等を含む農業生産資材価格の高騰対策としてさらなる助成策を緊急に講じること。



▲左から相澤副議長、渡邊議長、黒須市長、小湊議員（総務産業常任委員長）、武藤議員（同常任副委員長）

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席の定員を制限して再開しております。

【傍聴の仕方】

市役所東庁舎3階にある議会事務局までお越しください。予約は不要で、先着順となりますが、受付で氏名・住所・連絡先（電話番号）を記入していただきます。

●議場の傍聴席定員は10人（定員の2分の1程度）とし、間隔を空けて着席いただきます。

●マスク着用による咳エチケットの徹底、入場前のアルコール消毒液による手指消毒、検温のご協力をお願いします。

●発熱等の風症状がある場合は傍聴をご遠慮ください。  
※委員会室で行われる会議の傍聴は、委員会室のスペースが十分でないため、傍聴はできる限りお控えください。



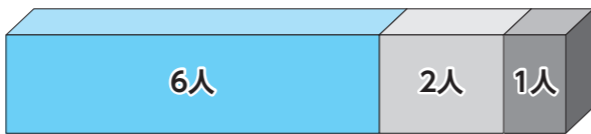
議会だより第218号（8月号）アンケート結果

9名のモニターの皆様にご協力いただきアンケートを依頼し回答いただきました。

アンケート結果の一部をお知らせいたします。詳細は市議会のホームページをご覧ください。

① 8月号全体の編集・レイアウト（文字数や図、表紙を除く写真）について、どのような感じでしたか。

■とても良かった ■良かった ■あまり良くない □良くない



② 8月号の「一般質問」は、アンケートのご意見をもとに、質問項目（タイトル）のレイアウトを変更しました。どのように感じましたか。

■とても見やすくなった ■見やすくなった ■変わらない □見づらくなった



たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。

# 教育厚生建設常任委員会活動報告

## ～ 小・中学校のICT教育の現状について ～

国では教育現場の情報化・ICT活動指導力向上等を推進しており、角田市内の小・中学校でも同様の取り組みが始まっています。小・中学生の皆さんが自宅でタブレット端末を操作している光景を見た、または一緒に操作をした保護者の方も多いのではないのでしょうか。教育厚生建設常任委員会（委員8名）では、タブレット端末の使用を含めた「ICT教育」について調査・研究を行っています。角田小学校、桜小学校、北角田中学校に協力をいただき、ICTを活用した授業を参観し、先生から機器の活用方法、学校内の環境整備、指導方法などについて話を伺いました。

### 角田小学校（7月）



【写真左上・中央】5年生国語の授業。机に1人1台のタブレット端末、電子黒板を用いて授業が進められていました。

【写真左下】先生との懇談



### 桜小学校（10月）



### 北角田中学校（10月）



【写真右上】2年生社会の授業。一人ひとりの意見を色分けした内容を映す電子黒板。

【写真右下】先生との懇談



### ICT教育とは

Information and Communication Technologyの略称で、パソコンやタブレット端末などの情報通信技術を活用した教育手法のことです。

教育厚生建設常任委員会では、引き続き「ICT教育」についての調査・研究について取り組んでまいります。

### 編集後記

今回の補正予算で、阿武隈急行線災害復旧事業1億1,955万7千円が提案され、原案どおり可決されました。今年3月に発生した福島県沖地震で線路や駅などは甚大な被害を受け、利用される方は不便な日々が続きました。そして、阿武隈急行の努力で今では元通りのダイヤに戻りました。ひとまず、安心です。

しかし、阿武隈急行は平成23年の東日本大震災、今年3月の地震、そして新型コロナ禍などの影響で利用者は激減、経営は大ピンチ。まさに“火の車”ならぬ“火の電車”なのです。阿武隈急行が安心して存続させる最大の力は何といても、皆さまが乗車することだと思えます。そして、いつまでもいつまでも、角田のまちを走り続けてもらいたいものです。

議会だより編集会議 委員 湯村 勇

### 12月定例会の予定

会期

12月5日(月)～12月23日(金)

#### 本会議の日程（午前10時開会）

12月5日	提案理由の説明
15日	質疑・自由討議
20日	討論・表決・一般質問
22日	一般質問
23日	最終日

※日程は変更になる場合があります。